

# 日野市観光協会だより

第30号 (平成30年9月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会

<http://www.shinsenhino.com/>



桑ハウス内部 (2008年撮影時)

## 旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室 (通称 桑ハウス)

今回から新たな観光資源として、日野市の史跡についてご紹介をしております。

第1弾は平成29(2017)年6月28日に文化庁の登録有形文化財に登録された「旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室」についてです。

旧農林省蚕糸試験場日野桑園の跡地は現在の仲田小学校、市民の森ふれあいホール、市民の森陸上競技場、デュオヒルズ日野多摩川、そして仲田の森蚕糸公園として利用されています。

日本の養蚕・製糸業は明治以降、殖産興業政策により飛躍的に発展し、明治期の外貨獲得は生糸の輸出により成し得たものとも言われました。しかし、家内工業的生産のため品質がふぞろいで蚕品種が多く粗悪品も多かったことから蚕種統一のため明治44(1911)年、現在の杉並区高円寺に農林省の「原蚕種製造所」が開設されました。その後、昭和3(1928)年に高円寺の試験場の拡大に伴い日野町仲田に分室ができました。昭和7(1932)年から日野桑園は9haの敷地に庁舎、6棟の蚕室、温度調整室、冷蔵庫棟、冷凍実験室などの研究室のほか、職員とその家族のための戸建て宿舎や独身寮が建ち、ここで桑や蚕の品種改良、優良品種

の育成など、さまざまな研究が行われていました。最も盛んだった頃には、100名近い人たちが働いていたといえます。その後、機構改革により、昭和55(1980)年に蚕糸試験場が筑波(茨城県つくば市)に移転するのに伴い、日野桑園も閉鎖され筑波に移転しました。現在仲田の森には、第一蚕室(通称「桑ハウス」と)庁舎の入口基礎がわずかに残っています。

平成8(1996)年から開催されている「ひのアートフェスティバル」では蚕室も展示会場として利用されたことがあります。現在、市では「桑ハウス」活用について検討をしているとの事です。昭和初期、国の研究機関として利用された施設も現在仲田の森蚕糸公園として面影の一部を残しています。是非皆様も時代の一コマに触れてみませんか。

出典：日野の歴史と民俗 148 (詳細版) 蚕糸試験場日野桑園 日野市郷土資料館 旧蚕糸試験場第一蚕室(桑ハウス)保存活用に向けた復元調査報告書 仲田の森遺産発見プロジェクト



# 平成30年度定期総会・60周年記念祝賀会を開催 ～全ての議案が満場一致で承認～

平成30年度定期総会が6月4日(月)午後3時から126名(委任状含む)の出席により高幡不動尊客殿にて開催されました。議案書に基づき平成29年度の各部の事業報告、決算報告、監査報告に続き平成30年度事業計画(案)、収支予算(案)が満場一致で可決されました。各部の事業報告は、新たな知見が広がり有意義な総会に成りました。本年度は日野市観光協会発足60周年に当たり、総会終了

後祝賀会を開催しました。杉田理事長からは「歴代会長からの心を受け継ぎ、より観光協会を活性化し楽しいものになりたい」とのお話がありました。続いて、ご来賓の大坪冬彦日野市長、西野正人日野市議会議長、山崎清一日野市商工会会長よりご祝辞を頂きました。また、事務局で作成した日野市観光協会60年の歩みの映像が上映され、より一層の会員の親睦を図る事が出来ました。(総務部)



## ホームページのスマートフォン対応



現在、観光協会のホームページはパソコンで見ること基本に作られています。しかし、野外での情報収集の手段はスマホなどの利用がほとんどです。そこで観光案内の一部をスマホでも見やすいデザインに変更しました。

スマホなどで当協会ホームページのトップ画面を開き、左手の「HONO HOMETOWN OF JAPAN'S LASTSAMURAI」をクリックすると新選組の紹介画面が始まります。その下に日野市の紹介、モデルコースの紹介、イベント・体験、アクセスに分かれ、必要な情報を得ることができます。言語も日本語、英語、中国語(簡体、繁体)、韓国語の5言語に対応しています。

皆さんもぜひご活用ください。右記QRコードからつながります。





# 第21回 ひの新選組まつり

平成30年5月12日(土)  
13日(日)



第21回ひの新選組まつりが盛大に行われました。2日目午後の降雨で、パレードの一部は縮小しましたが、約5万人もの来場者をお迎えできました。

ひの新選組まつりは今年で21回目。歴代の実行委員長をはじめ、たくさんの関係者が改善を重ねてきたもので、日野市観光協会も大黒柱のひとつです。今回は、外国人隊士の編成やポスターなどの英語表記統一などを行いました。

全国には、熱心な新選組ファンが沢山いて、し

かも若者や女性が多いことは今の日本では恵まれたことであり、観光地日野には大いなる順風が吹いています。この順風を推力とするために、どんな帆を揚げるべきか。創意工夫の可能性と責任を感じています。  
(まつり推進部)



来場者数

開催日	天気	高幡会場	日野宿会場
5月12日(土)	晴	6千人	2千人
5月13日(日)	曇りのち雨	1万人	3万人

## 第35回高幡不動尊あじさいまつり



今年で35回目を迎えた「高幡不動尊あじさいまつり」が6月1日から7月7日まで開催され、期間中お茶室での薄茶接待や八十八ヶ所クイズ巡り、俳句・短歌大会、写真コンクール、日本拳法・空手の奉納大会、写仏教室等々が催されました。

今年は開花が例年より10日程早く、多くの方で境内が賑わいました。また、7月9日には来年もっと良い花を咲かせる為にあじさいの花を切る「まり毬切り」が行われ、次回のあじさいまつりの準備が始まりました。(高幡不動尊)

## 今年の曼殊沙華が楽しみです

平成27年に東京日野ロータリークラブの発案で高幡不動尊のご協力により植栽された曼殊沙華も3年目を迎え、山内八十八ヶ所巡拝の六十五番付近(馬場跡地)を中心に12万株が植えられています。昨年は産地により咲く時期にばらつきがありましたが、数年たつと日野の地にもなれ、咲く時期もそろってくるとの事です。また、1本立だった株も昨年は3本立になっているものもあり、見る人の目を楽しませてくれました。

夏の猛暑で心配されましたが、曼殊沙華がどんな花を咲かせてくれるのか楽しみです。





## 日野のなにそれ「天然理心流佐藤道場」

日野宿本陣の一角にあった天然理心流の佐藤道場。その道場の一部が写真で残っているんです。佐藤彦五郎はおばあさんが襲われた事件をきっかけに井上松五郎(源三郎の兄)の紹介で天然理心流を習い始め、長屋門の一部を道場に改築しました。かって近藤勇や土方歳三、井上源三郎、沖田総司らが修行を行い、剣術の腕を磨いたのが、まさにその地なのです。

道場は、大正15(1926)年の日野の火災で焼失してしまいましたが、今残っていたなら新選組ファンは大感激のことでしょう。写真は隣の猪鼻輪業さんと日野宿本陣との間に掲示されています。是非、写真をご覧になりながら、幕末の風に吹かれてみてはいかがでしょうか。

**日野市観光協会の歩み** 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

## これからの行事予定

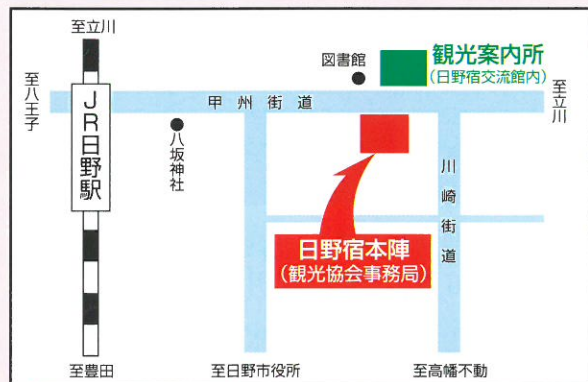
10月21日(日)	第13回平山季重まつり(平山小学校)
10月27日(土)～11月18日(日)	第48回高幡不動尊菊まつり(高幡不動尊境内)
11月10日(土)、12日(日)	第52回日野市産業まつり(市民の森ふれあいホール周辺)
11月22日(木)、23日(祝)	第13回たかはたもみじ灯路(高幡不動尊周辺)
1月1日(祝)～7日(月)	日野七福神めぐり(市内7ヶ寺)
2月3日(日)	節分会(高幡不動尊)
2月上旬～3月中旬	京王百草園梅まつり
2月下旬又は3月上旬	会員研修会

## バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。(会員価格 サイド月額 2,500円) ぜひご検討ください。

### 特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM(月曜定休)  
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9  
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961  
E-mail info@shinsenhino.com



## 会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方のお入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 編集後記

今春より縁あって、転勤により日野市内で仕事をする事になり、JR日野駅界隈を散策していたところ、住宅街の一角に佇む「加賀塚公園」に出会った。小田原の北条家に仕え、日野本宿に住まい、日野に知行地を有した武士「竹間加賀入道の墓」である。豊臣秀吉の関東攻めにて、主君に先立ち八王子城の落城前にこの地で無念の自害をした。日野宿本陣の当主の佐藤家の古文書(北条氏照印判状)にも、その名がみられるとか・・・北条家と新選組の年月を越えて主君を守る武士道を想い、公園内の散り行く花々、草木芳しい爽やかな風に吹かれました。今号より市内の史跡を表紙掲載しています。(E)